

第 28 回ビジネスレジスターに関するヴィースバーデングループ会合 結果概要
28th Meeting of the Wiesbaden Group on Business Register

1 開催日

令和 5 年 10 月 2 日（月）から 6 日（木）まで

2 場所

オランダ中央統計局（オランダ、ハーグ）

3 会合の趣旨

本会合はビジネスレジスター（SBR）、調査フレーム及び関連するトピックスに関し、参加各国の知見を共有し、国際比較の向上に資すること等を目的とした国連統計委員会の傘下で活動する国際的な専門家グループ（国連シティグループ）会合である。28 回目となる本会合はオランダ（オランダ統計局）がホスト国を務めた。

（Website： <https://www.aanmelder.nl/143739/wiki/894646/welcome>）

4 参加国等

日本を含む 50 か国等（44 か国・6 国際機関）から 82 名が参加

5 各セッション等の概要

（1）セッション 1：カントリープログレスレポート

本セッションでは、ホスト国であるオランダから、事前に各国から提出された各国におけるビジネスレジスターに関する進捗、今後の予定、主な課題等を記載したカントリープログレスレポート（CPR）を取りまとめた概要について、報告があった。

（2）セッション 2：複雑な統計単位のプロファイリング

本セッションでは、ドイツなどから、どのような単位概念や単位間の関連性がビジネスレジスターに実装されているか、どのようなデータソースから関連する単位間の情報を得られるかなどについて、報告があった。

（3）セッション 3：国際化とラージケースユニット

本セッションでは、イギリスなどから、大企業のグローバル化により出現するビジネスをビジネスレジスターにどのように記録するかなどについて、報告があった。

（4）セッション 4：産業分類システム

本セッションでは、フランスなどから、ビジネスレジスターの産業分類を更新する

AIなどを活用した革新的手法などについて、報告があった。

(5) セッション5：ビジネスレジスター成熟度モデルに関するワークショップ

本セッションでは、オランダなどから、各国のビジネスレジスターの現状を評価するための枠組である成熟度モデルの概要等について報告があった。その後、3つのブレイクアウトルームに分かれ、参加者は興味のあるセッションに参加した。

1つ目のセッションでは、フィジーなどから、成熟度モデルに関する進展などについて報告があった。

2つ目のセッションでは、国連統計部などから、地理空間情報の活用などについて報告があった。

3つ目のセッションでは、ハンガリーなどから、より高度なトピックや課題（IT関連の問題など）について報告があった。

(6) セッション6：新たなデータソース：機会と課題

本セッションでは、シンガポールなどから、ビジネスレジスターの迅速性・カバレッジ・質を改善する新たなデータソースや技術について、報告があった

日本からは、「日本における事業所母集団データベースの更なる整備・充実に向けた取組-更新頻度の向上」について報告を行った。

(7) セッション7：ビジネスレジスターの再設計

本セッションでは、オランダなどから、再設計の出発点としての世界的な新しいビジョンや、今後予想される課題などについて、報告があった。

6 その他

令和6年2月27日からニューヨークの国連本部で開催される「第55回国連統計委員会」において、本会合の概要等が報告された。

(第55回国連統計委員会 Website: <https://unstats.un.org/UNSDWebsite/statcom/55>)

以上